

帰ってきた

**g
o
m
i
-
d
a
s
No. 9**

問い合わせ
環境整備課 ☎(52)5101

ごみ出しのルールを守りましょう。
先月、栄町地区のごみステーションから収集したと思われる「もやすごみ」を、ごみ固体燃料施設内のごみ集積場に投入後、「もやすごみ」の中から発火し、「ぼや」となる事案が発生しました。

このため、警察署・消防署に出動を要請し、消防署員による現場検証の結果、失火の原因は、「もやすごみ」の中に火の消えていないたばこの吸い殻が混入していたものと推定されました。

幸い、早期の発見、消火によつてぼやでおさまりましたが、一歩間違えば大きな火災にもなりかねません。たばこの吸い殻など、火の心配のある物をごみとして出す場合には、必ず火の消えていることを確認してから、ごみ出しをしてください。

また、カセットボンベや殺虫剤、ヘアスプレーなどのスプレー缶は、必ず中身を空にして、「カンの日」に

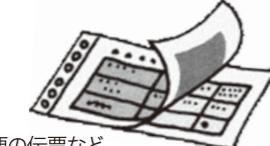
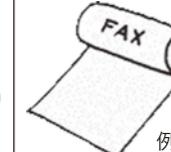
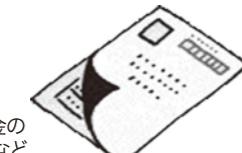
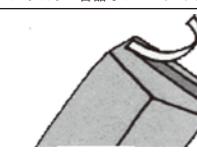
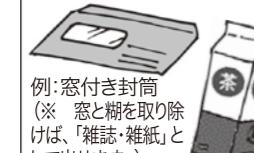


紙の分別「禁忌品」は、 紙資源に混ぜないで！

紙の中には、再び紙にリサイクルできない「禁忌品」と呼ばれるものがあります。

これらが、紙資源に混入すると、リサイクル工場において、品質の低下、機械の故障の原因となります。

「禁忌品」は、紙資源には混ぜず、もやごみとして処理してください。

カーボン紙、ノーカーボン紙 (感圧紙)	
感熱紙 (爪でひっかくと、あとが残ります。)	
圧着はがき	
防水加工紙	
粘着物のついた紙 (粘着物の部分を取り除けば、「雑誌・雑紙」として資源になります。)	
写 真	
においのついた紙	
複合素材の紙	
金箔・銀箔が箔押しされた紙	
ティッシュペーパー、タオルペーパー、汚れた紙、ぬれた紙	

ごみ処理場内の安全確保と混雑の緩和のために導入した事前申込制度が6月1日から始まります。

搬入を予定する1カ月前から前日までに受付専用番号（**☎ (52) 5224**）へ電話で申し込んでください。（当日は不可）

電話では、搬入希望日と時間、ごみの種類、量、持ち込む方の住所、氏名、電話番号、運搬に使う車両の種類・ナンバーを確認したうえで、搬入時間、受付番号をお知らせします。なお、1日の搬入回数は、自家用車で2回までです。

また、家庭ごみを持ち込むときは、事業系ごみ（有料）との混同を避けるため、2トン以上のトラックや、会社名の入った車両での入場はできません。

当日は、搬入のときに、受付番号、車両のナンバーおよび本人確認を行います。なお、搬入は申し込みをした本人および同居の親族以外はできません。ただし、特別な事情がある場合には、申し込みのときにご相談ください。

また、ごみを持ち込むときは分別し、粗大ごみ、紙資源、せんてい枝

A black and white line drawing of a trash bag tied at the top. Inside the bag are several items: a crumpled piece of paper, a plastic bottle, a glass jar, and some leafy green vegetables. The bag is set against a plain white background.

② 「雑誌・雑紙」の回収にご協力ください。

「雑誌」は、新聞・ダンボール・紙パック以外のリサイクル可能な紙を「雑紙（ざつがみ）」として、一緒に回収を行っています。

雑紙として一緒に回収できるものは、家庭で不要になつた投げ込みチラシ、パンフレット、使用済のコピー紙、包装紙、紙袋、紙箱などです。袋も、手提げ部分を取つて、折りたたんでください。

出された新聞・雑誌・雑紙、段ボール、紙パック、アルミ缶は、すべて資源回収による報奨金の対象になります。

リサイクルの推進と、自治会活動資金の一助として、回収にご協力をお願ひします。

なお、破損などによりのぼりが必要な場合には、リサイクルセンターに連絡してください。

ちなみに、1リットルの紙パック30枚で、約5個分のトイレットペーパーにリサイクルできます。

の日」にのぼりのあるステーションで資源回収のために行っていた「システム回収」は、名称が「紙資源の日」に代わっても、引き続き行っています。したがって、のぼりのあるステーションでは、この日だけは、資源回収の場所として、アルミ缶の

A black and white photograph of a recycling bin overflowing with trash. A small sign is attached to the side of the bin, which appears to have Japanese text on it. The bin is located in an outdoor setting.

また、小さな紙は縛るときに落ちてしまうため、空き封筒などにまとめて入れてから、雑誌と一緒に縛つてください。

なお、ごみ指定袋は、紙資源をリサイクルするときにごみとなりますので、使用しないでください。